

様式

技術名称	ジャケット式栈橋改修工法	技術の分類	施工	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	NETIS登録終了 (登録時はTSK-030001-A)
会社名等	日鉄エンジニアリング(株)	担当者	片山 能輔	連絡先	080-8749-8058
技術の概要	老朽化した直杭式横栈橋(上部工コンクリート塩害・鋼管杭腐食等)の改修について、従来工法では、現地で型枠設置・コンクリート打設を行うために栈橋供用停止期間が長期化する傾向にある。ジャケット式栈橋改修工法は、主要工種を工場製作によるため供用停止期間短縮のメリットがある他、柔軟な鋼管トラス配置による杭の補強や上部工の軽量化が可能な工法である。	対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 国土交通省職員 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 一般(施工業者・コンサルタント等含む)		
		添付資料	パンフの有無	有	
技術の特徴	◆従来工法: 鞘管設置による杭補強 + 現地型枠・鉄筋配置・コンクリート打設による上部工 ◇本工法: 工場製作のジャケットによる杭補強 + プレキャスト鉄筋コンクリート床版による上部工  メリット ・栈橋改修工事に関わる現地供用停止期間を5ヶ月削減(水深10m・延長200mの一般的な栈橋) ・上部工やり替えに加え+鋼管杭の補強を伴う場合には工費削減効果あり ・ジャケット部材による鋼管杭の補強、上部工軽量化による耐震補強などの効果あり ・ステンレスライニングによる長期・高品質防食化  デメリット ・上部工・鋼管杭の劣化が部分的な場合には、局部補強の方が安価	その他			

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。